

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第59号

剣道だより (KENDO Nagasaki)

**「令和8年度基本方針及び事業の重点事項」について (一財)長崎県剣道連盟 理事長 藤原昌史**

令和8年3月8日(日)三菱記念会館において、午前中に本県剣道連盟令和7年度第2回理事会及び午後第2回評議員会が開催されました。「令和8年度の本県剣道連盟の基本方針及び事業の重点事項」について紹介いたします。

本連盟は、わが国の伝統文化に培われた剣道、居合道及び杖道の伝承と発展を図るとともに、その普及を進め、心身の錬磨による人間形成と剣道の社会への還元を通じ、社会の健全な発展に貢献することを目指し、以下の基本方針並びに重点事項に基づき、令和8年度の事業を推進し、県剣道界の代表としての責務を果たすように努力する。



藤原昌史県剣道連盟理事長

第1. 基本方針

1. 「剣道の理念」に基づき、高い水準の剣道人の育成に心がけ、各層への剣道の普及を図るとともに、生涯剣道を目指し活力ある剣道界の実現を図る。
2. 各種事業の適正な運営、適切な経理処理に努め、財政の健全化を図る。
3. 審査の適正化、審判技術の向上を進め、講習の充実、徹底により質的向上を図る。
4. 所属加盟団体の協力の下、生涯剣道を目指して高齢者層とともに青少年層を含め、広く剣道愛好者への普及活動を図る。
5. 幼少年剣道人口減少傾向を阻止し、女子の剣道人口増加を図るため女子剣道委員会の活動を支援し、全剣連講習会への派遣援助等を行い女子指導者の育成を図る。
6. 剣道等を通じて外国人との交流を深め、国際親善を図る。
7. 専門委員会の更なる充実強化を図る。
8. 中学校武道必修化に伴う剣道授業の実態を把握し、その充実・発展の為に授業協力者の養成等をはじめ所要の支援を行うとともに、中学校部活動の地域展開を円滑に進めるために地域指導者と中学校の連携の援助を行い、剣道に携わる中学生の育成を図る。
9. 反倫理的行為である身体的・精神的暴力(バイオレンス)行為、身体的及び精神的なセクシュアル・ハラスメント等の根絶に努め、健全化を図る。
10. 剣道等における重大事故を防止するため、各行事参加者の体調確認、会場等の環境整備、医師(看護師)の配置及びAEDを常備するなどの事前確認を徹底する。
11. 役員改選時の規定を整備し正常な運営を図る。
12. 若い人材を確保するために現役大学生等に対して就職活動セミナーを開催したり、県内企業へも働きかけをおこなう。

第2. 事業の重点事項

1. 主・共催の諸大会を充実させるため、その運営内容の改善を進める。
2. 剣道人口減少対策を各層に合わせ対策を講ずる。特に幼少年対策は喫緊の課題である。
3. 若手・中堅剣士の錬成と社会人並びに学校指導者の育成を図る。
 - (1) 指導法・日本剣道形・審判法等の指導能力、審判技術向上のため、各種講習会並びに研修会の実施及び中央講習会への派遣を行う。
 - ア 指導力向上のため、特に幼少年指導者に対する講習会及び研修会の充実を図る。
 - イ 「木刀による剣道基本技稽古法」等により、初歩的段階から基本的な技を正しく習得させるための講習会を充実させる。
 - ウ 日本剣道形をさらに明確に理解できるよう講習会を通じて普及に努める。
 - エ 各種大会における剣道審判技術の向上を図るため、講習会の充実を努める。
 - (2) 本連盟の合同稽古会を実施し、実技向上並びに剣道愛好者の親睦を図る。
 - (3) 加盟団体の開催する講習会に要請があれば講師を派遣する。
 - (4) 小・中・高校・一般を含めた特別強化練習会を継続実施する。
 - (5) 三道(剣道・居合道・杖道)の交流を図り、それぞれの技術向上を図る。

4. 称号・段級位審査制度の適正な運用を図る。

称号・段級位審査規則、称号・段級位審査細則並びに審査実施要領に基づく審査の適切・公正な実施と審査業務及び審査会の合理的運営を図る。(審査会場の運営・管理を適切に行うための諸方策を講じる)

5. 関係団体との連携強化に努める。

(1) 全剣連との連携の緊密化を図り、指導及び協力を求める。

(2) スポーツ団体との連携の強化を図る。

(3) 報道機関との連携を密にし、報道媒体を通じて普及を図るとともに、「本連盟ホームページ」の充実を図り、会員相互の意志の疎通及び一般人への剣道の理解と関心を深める。

第3. 事業計画 抜粋

◎ 大会(主催事業) (定款第 4 条 1 項)				
1	国民スポーツ大会県予選会 第 76 回西日本各県対抗県予選会	諫早市	4 月 19 日(日)	森山スポーツ交流館
2	第 56 回県下居合道段別選手権大会	時津町	5 月 24 日(日)	時津 B&G 海洋センター
3	長崎県中学校クラブチーム予選会	諫早市	5 月 24 日(日)	森山スポーツ交流館
4	第 74 回 全日本剣道選手権大会県予選 第 65 回 全日本女子剣道選手権大会県予選	諫早市	7 月 19 日(日)	小野体育館
5	第 12 回長崎県杖道大会	諫早市	10 月 4 日(日)	長田文武館
6	第 73 回県下剣道大会	諫早市	10 月 25 日(日)	諫早市飯盛体育館
7	第 28 回県下剣道祭	長与町	12 月 20 日(日)	長与町民体育館
8	第 49 回長崎県下女子剣道大会	諫早市	令和 9 年 1 月 24 日(日)	小野体育館
9	第 75 回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 県予選 第 19 回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選	諫早市	2 月 7 日(日)	森山スポーツ交流館
◎ 大会(共催事業) (定款第 4 条 1 項)				
1	長崎県下高等学校剣道選手権大会	諫早市	4 月 18 日(土)	小野体育館
2	長崎県高等学校総合体育大会剣道競技	平戸市	6 月 6 日(土) ~6 月 8 日(月)	平戸市文化センター
3	長崎県中学校総合体育大会剣道競技	大村市	7 月 25 日(土)	シーハット大村
4	令和 8 年度長崎県民スポーツ大会剣道競技	長与町	11 月 15 日(日)	長与町民体育館
5	長崎県高等学校新人体育大会剣道競技	諫早市	11 月 21 日(土) ~22 日(日)	森山スポーツ交流館
6	長崎県中学校総合体育大会剣道新人戦	佐世保市	12 月 13 日(日)	未定
7	全国高等学校剣道選抜大会長崎県予選	諫早市	令和 9 年 1 月 17 日(日)	森山スポーツ交流館

報告(1)・・・第 40 回九州高等学校選抜剣道競技 島原高校男子団体優勝

※男子個人準優勝寺川叶真選手(島原)、女子団体ベスト 8 長崎東高校、女子個人ベスト 8 勝又美璃風選手(島原)

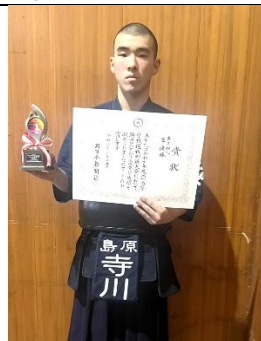
標記大会は令和 8 年 2 月 14 日(土)～15 日(日)熊本県山鹿市総合体育館において開催されました。男女個人は各県ベスト 8 以上、男子団体各県ベスト 4 以上(7 人制)女子団体各県ベスト 4 以上(5 人制)の試合方式です。

長崎県勢は男子団体戦において島原高校が 2016 年以来 10 年ぶり 5 回目の優勝でした。男子個人戦では寺川叶真選手(島原)が準優勝しました。女子団体戦の長崎東高校は準々決勝で優勝した八代白百合学園に 0-2 敗れました。

<p>【男子団体戦】 優勝 島原高校 2位 日章学園高校 3位 福岡大学付属大濠高校 3位 筑紫台高校</p> <p>【女子団体戦】 優勝 八代白百合学園高校 2位 中村学園女子高校 3位 福岡第一高校 3位 三養基高校</p>	<p>【男子団体結果】 <Fリーグ> 島原 1位通過 ○島原(長崎)3-1 東福岡(福岡)△ ○島原(長崎)6-1 杵築(大分)△ ○島原(長崎)4-1 小城(佐賀)△</p> <p><準々決勝戦> ○島原(長崎)4-1 興南(沖縄)△</p> <p><準決勝戦> ○島原(長崎)3-1 筑紫台(福岡)△</p> <p><決勝戦> ○島原(長崎県)2-2 日章学園(宮崎)△ 代表戦○三木己徹(島原) ドー倉部恵多(日章学園)△</p>	<p>【男子個人戦】 <1回戦> ○寺川叶真選手(島原) コー加藤雅翔(玉龍)△ <2回戦> ○寺川叶真(島原) コー國古世暎(久留米商)△ <3回戦> ○寺川叶真(島原) メー 宮崎翔偉(日章・宮崎)△</p> <p><準々決勝戦> ○寺川叶真(島原) メー 鶴 侑磨(明豊・大分)△</p> <p><準決勝戦> ○寺川叶真(島原) メー 北条蒼空(大濠・福岡)△</p> <p><決勝戦> △寺川叶真(島原) 一メ笹川大成(敬徳・佐賀)○</p>
--	--	---



島原高校男子団体優勝(10年ぶり5回目)



準優勝寺川叶真選手(島原)



寺川叶真選手(島原)



勝又美璃風選手(島原)

報告(2)・・・令和 7 年度長崎県剣道連盟合同稽古会(第 6 回目島原地区)

令和 8 年 2 月 7 日(土)島原市霊丘公園体育館において標記の稽古会が実施されました。

今年度最後の合同稽古は参加者の熱心な取り組みが見られる有意義な稽古会でした。稽古会参加者: 合計 40 名




※長崎県剣道連盟合同稽古会実施経過

第 1 回	【長崎市】	令和 7 年 4 月 12 日(土) 14:00～16:00	「県立総合体育館(サブ)」
第 2 回	【諫早市】	令和 7 年 5 月 18 日(日) 14:00～16:00	「森山スポーツ交流館」
第 3 回	【大村市】	令和 7 年 10 月 18 日(土) 14:00～16:00	「大村市武道館」
第 4 回	【佐世保市】	令和 7 年 11 月 15 日(土) 14:00～16:00	「県立武道館」
第 5 回	【北松地区】	令和 7 年 12 月 6 日(土) 14:00～16:00	「佐々町民体育館」
第 6 回	【島原市】	令和 8 年 2 月 7 日(土) 14:00～16:00	「島原市霊丘公園体育館」

報告(3)・・・第9回全国消防職員剣道大会 佐世保市消防局 3位入賞

標記剣道大会が2月20日(金)東京都大田区・大森スポーツセンターにて開催されました。本大会は2年に1度開催されており、全国から59チームがエントリーしました。長崎県からは佐世保市消防局と長崎市消防局の2チームが参加しました。試合は五人制団体戦、3分3本勝負。3チームの予選リーグ1位で通過した19チームが決勝トーナメントに進出しました。本県から出場した長崎市消防局は1勝1敗で予選2位敗退でした。佐世保市消防局は2勝0敗予選リーグ1位で通過し、準決勝戦で東京消防庁Eに敗れ、3位入賞でした。

<p>【団体戦】</p> <p>優勝 八女消防本部 A(熊本県)</p> <p>2位 東京消防庁 E(東京都)</p> <p>3位 東京消防庁 A(東京都)</p> <p>3位 佐世保市消防局(長崎県)</p> <p>ベスト8</p> <p>君津市消防本部 B(千葉県)</p> <p>東京消防庁 C(東京都)</p> <p>鹿児島県合同(鹿児島県)</p> <p>君津市消防本部 A(千葉県)</p>	<p>【長崎県出場チーム試合結果】</p> <p>【予選リーグ】Nグループ 佐世保市消防局 2勝0敗 1位</p> <p>1)○佐世保市消防局(長崎県)4-0 芳賀広域消防本部(栃木県)△</p> <p>2)○佐世保市消防局(長崎県)2-1 松戸市消防局(千葉県)△</p> <p>【予選リーグ】Pグループ 1勝1敗 2位 予選敗退</p> <p>1)○長崎市消防局(長崎県) 2-1 新潟市消防局(新潟県)△</p> <p>2)△長崎市消防局(長崎県) 1-2 横浜市消防局(神奈川県)○</p> <p>【決勝トーナメント1回戦】</p> <p>○佐世保市消防局(長崎県) 2-1 山辺市消防本部 B(千葉県)△</p> <p>【決勝トーナメント2回戦】</p> <p>○佐世保市消防局(長崎県) 1-1 鹿児島県合同(鹿児島県)△</p> <p>代表戦 勝ち</p> <p>【準決勝戦】</p> <p>△佐世保市消防局(長崎県) 1-2 東京消防庁 E(東京都)○</p>	
--	--	---



3位入賞 佐世保市消防局チーム




表彰式 佐世保市消防局チーム



次鋒 松井勇弥選手(佐世保消防)写真右

報告(4)・・・第13回西山弘杯争奪剣道大会 グランドシニアの部 優勝 丙午会

標記剣道大会が2月8日(日)熊本県宇城市宇城武道館にて開催され、58歳以上で3人の年齢合計が180歳以上のグランドシニアの部で丙午会(長崎県)が見事優勝しました。本大会の参加チームは韓国をはじめ九州各県からグランドシニアの部26チーム、シニアの部38チーム(40歳以上)、一般フリーの部(年齢制限なし高校生不可)47チームが3人制トーナメント試合を戦いました。丙午会(長崎県)は先鋒 高原洋一(59 雲仙市)、中堅 開健一(59 大村市)、大将 松尾純伯(63 雲仙市)でした。決勝戦では一昨年優勝した地元熊本県の清水道場に 1-0で勝ち、優勝しました。

	<p>【試合結果】</p> <p>【1回戦】</p> <p>○丙午会(長崎県)2-0 八代水曜稽古会(熊本) △</p> <p>【2回戦】</p> <p>○丙午会(長崎県)1-1 西山会(熊本) △</p> <p>丙午会 代表戦勝ち</p> <p>【3回戦】</p> <p>○丙午会(長崎県)3-0 竹田市剣連友愛会(大分県) △</p> <p>【準決勝戦】</p> <p>○丙午会(長崎県)2-0 熊本朝鍛会 B(熊本県) △</p> <p>【決勝戦】</p> <p>○丙午会(長崎県)1-0 清水道場(熊本県) △</p>
--	--

グランドシニアの部 優勝 丙午会

報告(5)・・・令和 8 年度杖道特別講習会

令和 8 年 2 月 21 日(土)、22 日(日)諫早市森山武道館において標記の講習会が開催されました。講習会参加者は講師 1 名、県剣道連盟 3 名、杖道部 26 名、計 30 名でした。

講師には全日本剣道連盟杖道委員会委員長範士八段森本訓史先生をお招きして 2 日間丁寧かつ示唆に富む御指導をいただき、日頃の稽古では気付くことのできない杖道の本質に触れることができました。講習会参加者は講習会で学んだことを今後の稽古の糧として、それぞれの道場に持ち帰り、更なる精進につなげる講習会でした。

【森本訓史先生の紹介】

- ① 全日本剣道連盟 杖道範士八段
- ② 全日本剣道連盟杖道委員長
- ③ 昭和 33 年 5 月生まれ(67 歳)大阪府
- ④ 大東少年剣友会にて剣道、杖道を学ぶ
- ⑤ 高校、大学は剣道部に所属
- ⑥ 同志社大学卒業後、守口杖道教室を創設
- ⑦ 平成 21 年(2009 年)杖道八段
- ⑧ 平成 29 年(2017 年)杖道範士
- ⑨ 令和 5 年 6 月より全日本剣道連盟杖道委員会委員長

【開講式内容】

- ① 主催者挨拶 県剣道連盟杖道部 部長 橋本幸一
- ② 来賓挨拶 長崎県剣道連盟 会長 灰谷達明
- ③ 講師挨拶 全剣道連盟杖道委員会委員長 森本訓史
- ④ 来賓紹介 長崎県剣道連盟 理事長 藤原昌史
理事 岩松正直

【講習会内容】

- 2 月 20 日(土)1 日目
- ① 講話 森本訓史先生講話
- ② 講習(Ⅰ)実技 全日本剣道連盟杖道
- 2 月 21 日(日)2 日目
- ③ 講習(Ⅱ)実技 全日本剣道連盟杖道



森本訓史先生を囲んで長崎県剣道連盟杖道部集合写真



講話①: 森本訓史先生



講話② 全日本剣道連盟 杖道



実技① 全日本剣道連盟杖道



実技② 全日本剣道連盟杖道

【杖道について】

杖道は、長さ 128cm、直径 2.4cm の杖を用い攻撃よりも変化に応じて相手を制圧するのが本旨です。17 世紀初頭に夢想権之助によって創始された神道夢想流杖が起源です。杖道は、昭和 31 年に全日本剣道連盟に加入し、同 43 年には太刀を「打」、杖を「仕」とする基本 12 本、その応用技 12 本が制定され「全日本剣道連盟杖道」として発足、同 49 年に第 1 回全日本杖道大会が開催されました。杖道の試合は、2 組の出場者が、規定の術技を仕打交代して演武し、その「充実した氣勢」、「正しい姿勢」、「正確な打突と打ち込みの強弱」、「間合と間」、「礼法」などを審判員が判定して勝敗を決します。